

○ 本校の概要

本校は昭和22年に開校し、私鉄の4駅に囲まれた交通至便な住宅街にあり、現在は12学級、全校生徒361名の中学校である。敷地は風致地区内にあり、自然に溢れ、4月に校庭が一面桜の花で覆われる。校庭の竹林にはたくさんのタヌキは給食の食材として活用して、春の香りを楽しんでいる。区民の憩いのある公園を15分ほど歩くことができる風光明媚な洗足池が本校に隣接しており、運動会の長距離走ではここがコースとなる。生徒たちはこの池にホテルを自生させる活動にも取り組み、毎年その風情を集めて作るミズコンポスト、夏の陽射しをさげざるゴーヤのグリーンカーテン、さらに大岡山駅の前から徒歩でも行っている。教育目標は○気品のある生徒の育成 ○実力のある生徒の育成 ○健康の優れた生徒の育成の3つを掲げている。2011年にユネスコスクールに加盟し、地域を「屋根のない学校」として捉え、地域の人としてをモットーに地域の中で、地域の人々と共に、地域のために、環境を保全するための環境教育や、災害に立ち向かう姿勢をつくる防災教育を中心に、国際理解・交流教育、地域連携教育、人権尊重・平和学習等を行い、生徒の自己有用感、自己肯定感を育んでいる。自らの育った地域への愛着を持ち、郷土愛を育み、将来の日本、世界の様々な課題を解決して、心豊かに生きていくための基盤をつくる教育実践を行っている。20年・30年後の持続可能な社会の担い手を育てる持続発展教育(ESD)を推進している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 6 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組及び今後の改善策. The table contains detailed self-evaluation data across various categories like '学力向上', '豊かな心を育む', '体力向上', '教育環境向上', and '家庭・地域の教育力向上'.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。